

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- マラリアの報告が1例(30歳代女性)あり、症状は発熱・悪寒・頭痛・DICです。感染地域は国外(南スーダン)で、感染経路は蚊媒介です。本年の累積報告数は4例となりました。
- アメーバ赤痢の報告が1例(40歳代男性)あり、症状は下痢・しぶり腹・腹痛です。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は17例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(90歳代女性)あり、本年の累積報告数は30例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(40歳代女性)あり、症状は発熱・咳・全身倦怠感・肺炎・菌血症で、感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は53例となりました。
- 梅毒の報告が2例(30歳代男性および50歳代女性)あり、2例ともに感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は62例となりました。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は1.00(43例)となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 5例(肺結核 3例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 298例(肺結核 155例, その他結核 50例, 潜在性結核感染者 93例)うち喀痰塗抹陽性 77例】
- 四類:マラリア(熱帯熱) 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:アメーバ赤痢 1例(腸管アメーバ症)【1月以降の累積報告数 17例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 30例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 53例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 62例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.14	10
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.23	139
	② 手足口病	1.26	54
	③ RSウイルス感染症	1.02	44
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	43
	④ ヘルパンギーナ	1.00	43
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

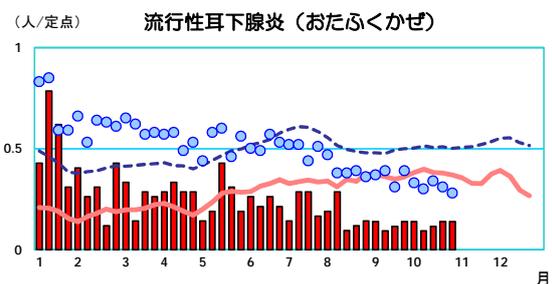
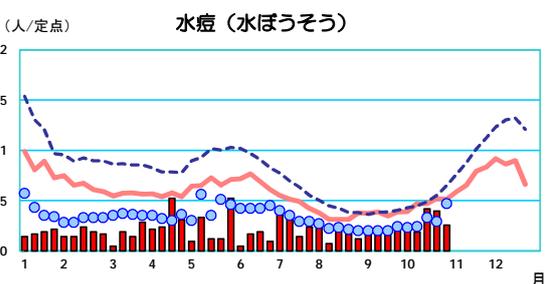
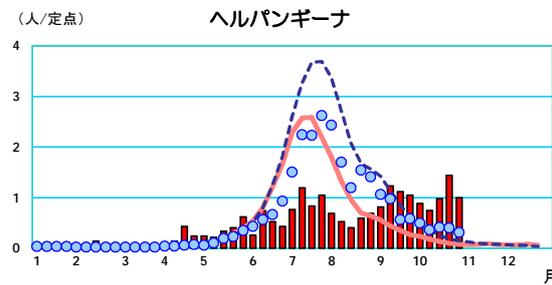
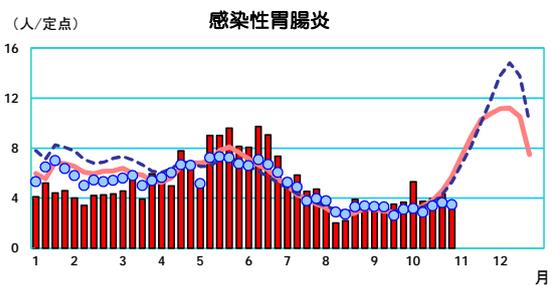
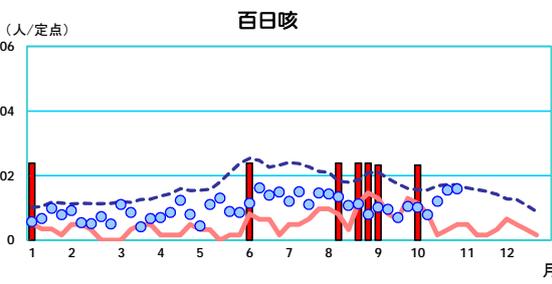
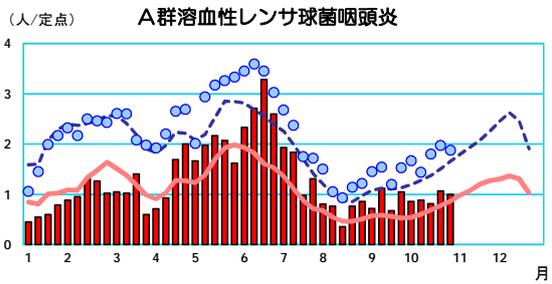
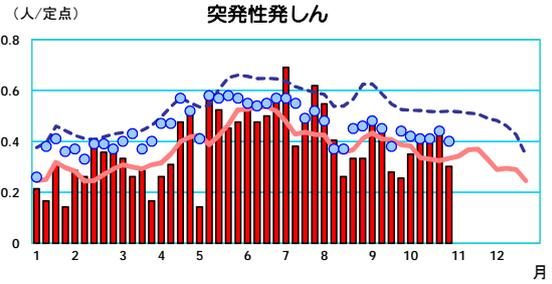
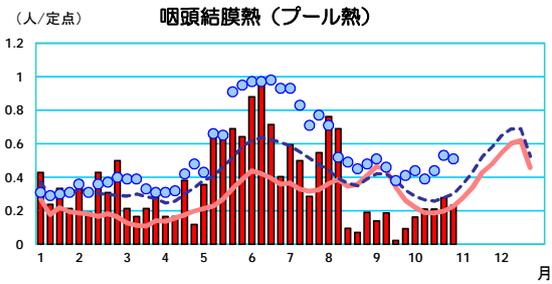
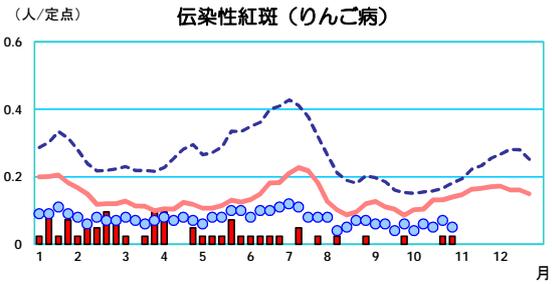
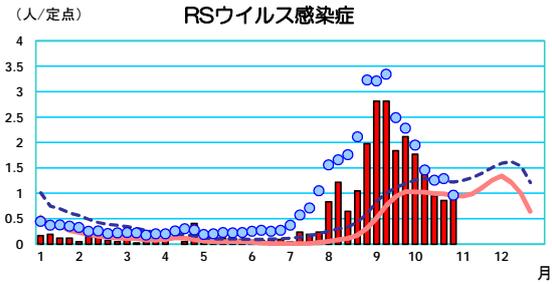
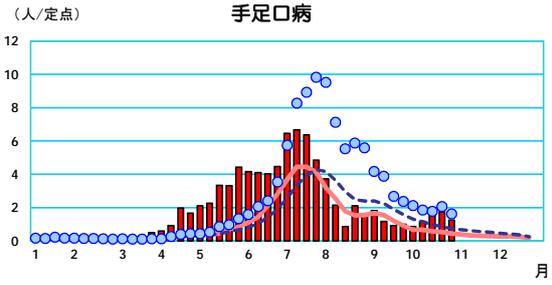
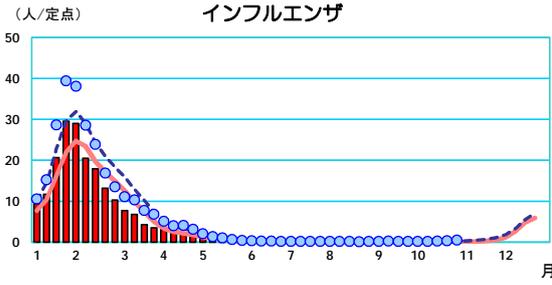
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年11月8日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染経路及び感染地域については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第44週(10月30日～11月5日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

京都市のヘルパンギーナの定点当たり報告数は1.00(43例)となりました。本年最も多かった前週1.44(62例)より減少したものの、この時期としては高い値で推移しています。全国の定点当たり報告数は2週連続で減少し、0.31となりました(図1)。

定点当たり報告数の過去5年平均値を見ると、ヘルパンギーナは例年、6月ごろから流行しはじめ、7月から8月にかけてピークとなります。本年の全国の推移も同じ傾向が見られます(図1)。一方、本年の京都市の推移では、報告数の最も多かった週が第43週であり、京都市及び全国の過去10年の推移と比較すると、いずれとも違ってきます。夏にピークを形成せず、報告数が必ずしも多いわけではありませんが、10月下旬としては高い値で推移しており(図2)、今後の動向に注意を要すると考えられます。

ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に発症します。京都市及び全国の過去5年平均と、京都市の本年第44週までの発症年齢はほぼ同じ傾向で、3歳未満が60～70%程度、5歳以下で約90%を占めています(図3)。

本疾患の症状は、発熱、口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とします。原因病原体は主にコクサッキーウイルスA群で、潜伏期間は2～4日、突然、38～40℃の発熱が1～3日間続きます。咽頭痛、咽頭粘膜の発赤のほか、口腔内には直径1～5mmほどの小水疱が出現し、疼痛を伴います。ほとんどは予後良好ですが、まれに無菌性髄膜炎、急性心筋炎などを合併することがあります。感染経路は飛沫感染と接触感染です。子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒するほか、流水及び石けんによる手洗いで接触による感染を予防しましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

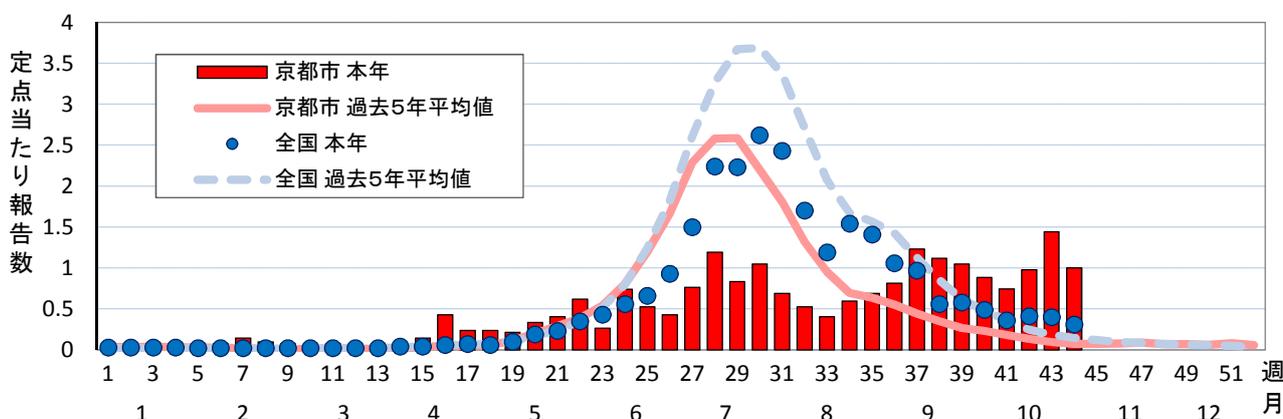


図2 京都市及び全国の過去10年及び本年の推移

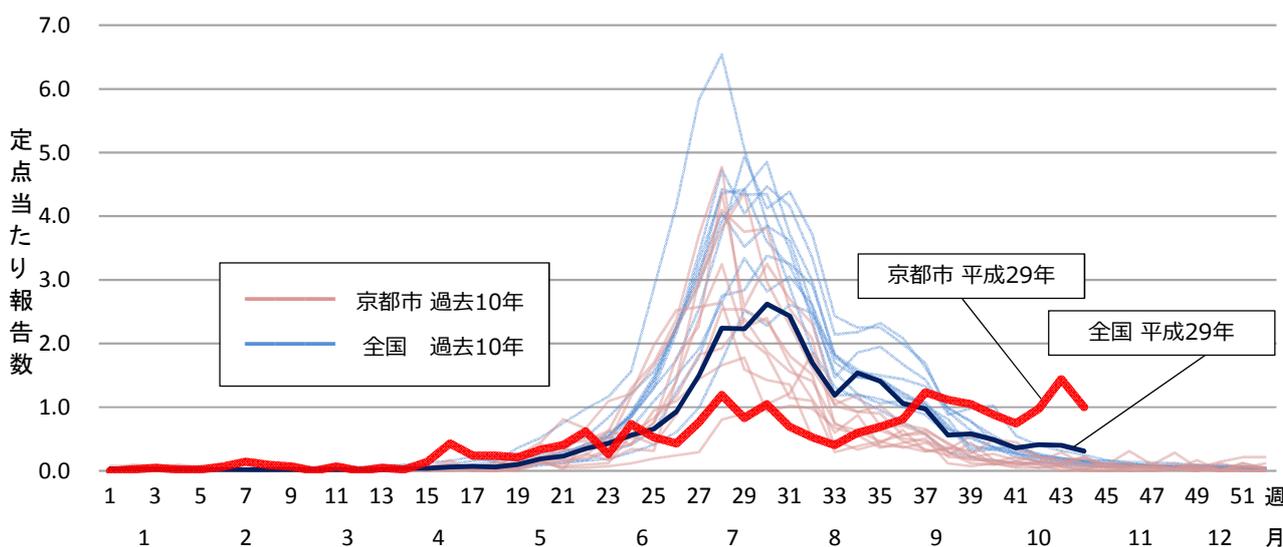
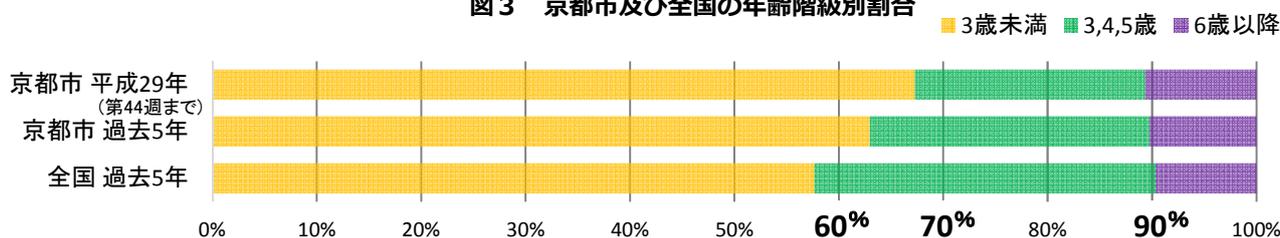


図3 京都市及び全国の年齢階級別割合



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第44週

疾病,行政区別報告数

平成29年10月30日～平成29年11月5日

データ入手日:平成29年11月8日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	3	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
上京	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
左京	-	4	-	6	29	3	5	-	3	-	-	1	-	-						
中京	-	1	-	3	7	-	1	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	3	1	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	3	3	2	6	2	-	-	-	2	-	3	-	-	-						
下京	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	1	10	3	6	1	-	-	5	-	-	-						
右京	-	7	2	7	13	3	19	-	3	-	9	1	-	1						
伏見	2	21	4	6	44	1	11	-	1	-	14	-	-	-						
西京	4	1	1	7	14	1	11	-	4	-	1	4	-	-						
京都市計	10	44	10	43	139	11	54	1	13	-	43	6	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	0.75	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-						
上京	-	-	-	1.33	0.33	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-						
左京	-	1.00	-	1.50	7.25	0.75	1.25	-	0.75	-	-	0.25	-	-						
中京	-	0.33	-	1.00	2.33	-	0.33	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.50	0.50	-	8.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.43	0.60	0.40	1.20	0.40	-	-	-	0.40	-	0.60	-	-	-						
下京	0.33	0.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	0.33	3.33	1.00	2.00	0.33	-	-	1.67	-	-	-						
右京	-	1.40	0.40	1.40	2.60	0.60	3.80	-	0.60	-	1.80	0.20	-	1.00						
伏見	0.18	3.00	0.57	0.86	6.29	0.14	1.57	-	0.14	-	2.00	-	-	-						
西京	0.50	0.20	0.20	1.40	2.80	0.20	2.20	-	0.80	-	0.20	0.80	-	-						
京都市計	0.14	1.02	0.23	1.00	3.23	0.26	1.26	0.02	0.30	-	1.00	0.14	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第44週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年10月30日～平成29年11月5日

データ入手日:平成29年11月8日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	10	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	1	2	-	-	1	1	1	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	44	6	9	15	8	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		10	1	-	-	2	1	1	1	2	-	1	-	-	-	-	1					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		43	-	-	1	3	1	5	4	6	8	4	4	4	1	2						
感染性胃腸炎		139	-	5	30	18	15	15	11	9	9	4	5	7	5	6						
水痘		11	-	1	2	-	1	1	-	2	1	1	1	1	-	-						
手足口病		54	1	8	23	7	6	6	1	1	-	-	-	-	-	1						
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		13	-	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		43	-	6	18	7	4	3	3	-	-	1	1	-	-	-						
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	1	1	1	2	-	-	1	-	-	-						
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性角結膜炎		年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.14	-	-	-	0.01	0.01	-	-	0.01	0.01	-	0.01	0.03	-	-	0.01	0.01	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	1.02	0.14	0.21	0.35	0.19	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.23	0.02	-	-	0.05	0.02	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	0.02						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	-	-	0.02	0.07	0.02	0.12	0.09	0.14	0.19	0.09	0.09	0.09	0.02	0.05						
感染性胃腸炎		3.23	-	0.12	0.70	0.42	0.35	0.35	0.26	0.21	0.21	0.09	0.12	0.16	0.12	0.14						
水痘		0.26	-	0.02	0.05	-	0.02	0.02	-	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-						
手足口病		1.26	0.02	0.19	0.53	0.16	0.14	0.14	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.02						
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.30	-	0.09	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		1.00	-	0.14	0.42	0.16	0.09	0.07	0.07	-	-	0.02	0.02	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.14	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	-	-	0.02	-	-	-						
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性角結膜炎		年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第44週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年11月8日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		7	8	22	15	13	10
RSウイルス感染症		91	76	62	41	37	44
咽頭結膜熱		4	7	9	9	12	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		45	37	38	35	46	43
感染性胃腸炎		158	228	161	170	187	139
水痘		9	9	8	18	17	11
手足口病		43	37	50	84	75	54
伝染性紅斑		1	-	-	-	1	1
突発性発しん		11	15	17	18	19	13
百日咳		-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		45	38	32	42	62	43
流行性耳下腺炎		6	6	4	5	6	6
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	4	2	1	4	1
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		425	466	405	438	479	375

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.10	0.12	0.32	0.22	0.19	0.14
RSウイルス感染症		2.12	1.77	1.44	0.95	0.86	1.02
咽頭結膜熱		0.09	0.16	0.21	0.21	0.28	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.05	0.86	0.88	0.81	1.07	1.00
感染性胃腸炎		3.67	5.30	3.74	3.95	4.35	3.23
水痘		0.21	0.21	0.19	0.42	0.40	0.26
手足口病		1.00	0.86	1.16	1.95	1.74	1.26
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	0.02	0.02
突発性発しん		0.26	0.35	0.40	0.42	0.44	0.30
百日咳		-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.05	0.88	0.74	0.98	1.44	1.00
流行性耳下腺炎		0.14	0.14	0.09	0.12	0.14	0.14
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	0.40	0.20	0.10	0.40	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		10.21	11.07	9.38	10.13	11.33	8.71

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。